

2008 年度

科目名 情報薬学基礎演習	対象学科・学年 薬学部薬学1 回生	担当者 谷本 能文
授業テーマ 情報リテラシーおよび薬学部生が身に付けておくべき情報処理の基礎技術の演習をおこなう。		
授業の概要と目標 最近の情報通信、とりわけインターネットの普及には目を見張るものがある。医療現場においても、イントラおよびインターネットを利用した情報共有・情報活用が必須の知識となってきた。本演習では、このような状況に対応可能な能力を習得すると共に、情報を活用するための倫理や知識についても習得する。 本科目は、主に薬学教育コアカリキュラムの「F（7）IT」の全て、「A（2）医療の担い手としてのこころ構え」の一部に相当する。		
評価方法 出席、授業態度（欠席・遅刻も減点の対象）、提出課題によって総合的に判断する。		
テキスト 特になし	著者	出版社
参考書 演習で学ぶ IT 入門	著者 倉元 博美、三仲 啓 遠矢 守、園屋 高志	出版社 化学同人
授業スケジュール・内容 1. 学内 LAN への参加、共通フォルダの利用、電子メールの送付（*学内 LAN を利用できる。*授業支援フォルダを利用できる。電子メールの送信、受信、転送などができる。（技能）） 2. 文書作成、レポート提出（*ワープロソフトを用いることができる。（技能）*適切に文字の種類を選択し文書を入力できる。*文書をメールの添付ファイルとして送付できる。） 3. ブラウザの利用、moodle の利用（インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。（技能）*検索エンジンを活用することができる。*e-learning ポータルである"moodle"を利用できる。） 4. 図書・データベース検索、moodle の利用（*OPAC を使った大学図書館の蔵書検索ができる。*他大学及び公共の図書館の蔵書検索ができる。*PubMed などを利用した雑誌・文献データベースの検索ができる。*e-learning ポータルである"moodle"を利用できる。） 5. 学習支援システム（*薬学部学習支援システムを利用して演習・自習を行なうことができる。） 6. 情報リテラシー（コンピューターを構成する基本的装置の機能と接続方法を説明できる。*ネットワーク上でのマナーについて説明できる。ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。（態度）*情報倫理について概説することができる。*著作権について説明することができる。） 7. Excel の基礎（*表計算ソフトを用いることができる。（技能）*表計算の概念であるセル、ワークシートについて説明できる。*算術式や関数を用いた計算を行なうことができる。） 8. Excel によるグラフ描画（*データを元に散布図を描くことができる。*散布図に標準偏差を表示できる。） 9. Excel による統計解析・検定（*データを元に分散・標準偏差を推定することができる。*付属の関数を使って F-検定、t-検定を行なうことができる。） 10. 病院での情報環境の利用（*病院における情報環境の利用について概説できる。） 11. PowerPoint の基礎（*プレゼンテーションについて説明できる。*プレゼンテーションのためのテーマを設定できる。*検索エンジンを活用して題材を収集することができる。医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。（態度）医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。（知識・態度）研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。） 12-13. PowerPoint によるスライドの作成（*効果的なプレゼンテーションを行なう工夫をすることができる。*文字の大きさや色を適切に変更することができる。*アニメーションを効果的に利用できる。） 14-15. プレゼンテーションの実習（*効果的なプレゼンテーションを行なうことができる。*時間内に発表をまとめることができる。*発表された内容を評価することができる。他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。） 実習補助：錦織 理華		